

F-net大井川は

山を未来へ 繋いでいきます

FSC® 10の原則に基づき**環境性・経済性・社会性**の
バランスの取れた管理を行います。



原則1 法律や国際的な取り決めの遵守

関連する国内法や国際的な取り決めを守って森林管理を行います。



原則2 働く人の権利や安全が守られている

現場で働く労働者の安全や権利、生活が守られ、安心して働ける環境を整えています。毎朝夕、安全作業の確認を行います。



シイタケ栽培の様子

原則5 森林からの多様な恵みを活かします

木材以外にも様々な収穫があり、利用され、地域から愛される森林にします。現在は、シイタケ栽培や栄養たっぷりの水を利用したヤマメの養殖が行われています。今後、森林から得られる恵みがさらに多様化していくことも期待されます。



原則8 計画の実施状況を定期的にチェック

計画の実施状況を定期的にチェック

計画が実行されているか、改善の必要はないかを定期的にチェック(モニタリング)しています。

◀作業道開設後のチェック

原則3 森林と共存してきた人々の伝統的な暮らしの尊重

昔から山で暮らしてきた人々の生活を尊重して管理方法を考えます。



原則6 多面的機能を守り、悪影響を抑えている

森林は水源や多くの生物が暮らすなど様々な恵みを与えてくれます。管理や利用は森の豊かさを損なう事のないよう配慮します。



原則7 適切な森林管理計画を立てています

木の成長は長い年月がかかります。目の前のことだけでなく、未来を見据えた管理計画を目指します。



原則9 保護すべき森林を守り育てている

保護すべき森林を守り育てている

森林の中でも、生態的、社会的、文化的に特に重要な箇所を調べ、適切に管理し、次世代に引き継ぎます。



原則10 管理活動を実施しています

管理活動を実施しています

適切な森林管理計画に基づいた管理活動の実施を目指します。例えば、燃料などの化学物質は十分に注意して扱うなど、作業によって環境や社会に悪影響を与えないように注意しています。

◀給油時の様子。燃料缶の下にはシートを引き、万が一に備えます。



原則4 地域社会との良好な関係を保ちます

山が地域社会に開かれ、地域の発展に貢献します。自治会、地元の木材加工業者のみならず、漁協や林業とは関わりが無い企業など地域の皆様の声を伺い、今後の森林管理計画へ活かしていきたいと思ひます。

私たちはこの原則に基づいた森林管理を目指しています



「FSC森林認証制度」に基づいた森林管理

森林認証制度とは、「森が適切に管理されているか」を第三者機関が国際基準に沿って、審査、認証するものです。世界には様々な森林認証制度がありますが、私たちはFSC森林認証を選択し、適切な森林管理がなされている森林を認証するFM認証を取得しています。認証を取得した森林から産出された木材の加工・流通を対象にしたCoC認証もあります。

FSCの特徴

▶世界的に統一された基準で審査

FSCは森林管理において独自に制定した10の原則と70の基準を持っています。これは国際的に統一された基準です。

▶第三者機関が審査、認証

10の原則と70の基準に沿って、独立した利害関係を持たない第三者機関が審査、認証します。

FSCの山は私たちの暮らしをどんなふうに変えるのかな? 見てみよう!



山が元気になることで 私たちの暮らしは より豊かになります

FSC森林認証制度に基づいて森林が管理されることで、市街地に暮らす私たちは様々な恩恵を受けています。山が元気であることは地域にとって、とても大切なことです。

森林を楽しむ!

適切に管理された森林は多くの動物がすみ、多様な植物が生えています。私たちはそれらを、日々の暮らしやハイキング、キャンプなどを通して楽しむことができます。



不動の滝キャンプ場

木は魅力的な素材!

木材は軽くて強く、昔から様々なものに活用されてきた素材です。近年では、木は植えて再生産ができる循環可能な素材としても注目されています。



川根本町農林業センター

美味しい水や豊かな海!

川の始まりは山。森林が雨を栄養たっぷりの水にすることで、川や海が豊かになります。美味しい水も美味しい魚も、森林が適切に管理されているからこそ教授できる恵みです。



山づくりが豊かな海づくりに繋がるんだね!

